

環境経営レポート

2025年度（令和7年）

（活動期間：2024年10月～2025年9月）



京葉総業グループは、全員で資源リサイクル事業の取り組みを更に推進させる為に、廃棄物のリデュース（発生抑制）・リユース（再利用）・リサイクル（再生利用）の3Rを通じて、環境経営のもと、「地球温暖化防止と資源循環型社会への貢献」に取り組んでいます。

作成：2025年11月29日

株式会社 京葉総業・有限会社 京葉総業

船橋	習志野	八千代	お問い合わせは  contact@keiyo-sogyo.co.jp
市川	白井	千葉全域	0120-047-462 (本社)
			0120-117-880 (白井中間処理場)

＜ご挨拶＞

日本の企業は、戦後の高度成長期を経てめざましい発展を遂げてきました。

それに伴う負の遺産として、使いすてによる大量の廃棄物、CO2の増加による環境破壊などが問題視されています。今や環境問題は、一国のみならず世界全体で危惧されている最重要課題であり街ぐるみ、また消費者一人一人の意識も高く求められる時代になっております。

環境問題の原点の一つともいえるゴミを扱う我が社は、限られた資源を守り廃棄物の分別の徹底によるリサイクルはもとより社員一人一人が環境を守るという意識向上のための指導のもとあらゆる角度から「循環型社会の構築と実現」に向けて、日夜休むことなく努力を続けていく所存であります。

その中でお客様のお困りの問題解決への提案に心掛け、安心安全な環境ソリューションサービスのご期待に応え続けた結果、SDGSのパートナーとして認められより密着した地域サービスを展開しております。これからも当社の役割を認識し、「エコアクション21に取り組んで良かった！」と、全社員と共に皆様の成果を実感出来る「環境経営」に邁進する所存です。 応援の程宜しくお願い申し上げます。



千葉県を中心に取引先ニーズを先取りし、エコアクション21を通じ環境経営力を高め、リサイクルのトップランナーを目指した結果、ご紹介の感謝状をご頂戴致しました。これはひとえに皆様からの応援の賜物であり大変感謝しております。更なる地域と地球社会のパートナーを目指しより良いSDGSパートナーの役割を果たして参ります。



1. 会社組織の概要

		株式会社 京葉総業	有限会社 京葉総業※
法人設立年月日		昭和 56 年 11 月 13 日	平成 4 年 9 月 24 日
資本金		1,600 万円	300 万円
売上高	2025 年度	584 百万円 (決算期 9 月)	242 百万円 (決算期 8 月)
事業所名		株式会社京葉総業	有限会社京葉総業白井作業所 (産業廃棄物中間処理施設)
代表者名		代表取締役 小出 勉	兼務 代表取締役 小出 勉
所在地		〒274-0817 千葉県船橋市高根町 2712-1	〒270-1431 千葉県白井市根 13 番 1
ホームページ		http://www.keiyo-sogyo.co.jp/	
環境経営責任者氏名		小出 勉	
担当者連絡先	担当	三宅 由起子	周郷 富友美
	電話)	047-407-7500	047-492-6227
	(FAX)	047-407-7520	047-492-6228

事業活動の内容	①一般廃棄物収集運搬業 ②産業廃棄物収集運搬業 ③特別管理産業廃棄物収集運搬業	①産業廃棄物収集運搬業 ②産業廃棄物中間処理業		
株式会社 京葉総業 (船橋市)	2023 年度	2024 年度	2025 年度	
	従業員(人)	21	20	20
※有限会社 京葉総業 (白井市)	敷地面積(m ²)	810	810	810
	従業員(人)	13	11	10
	敷地面積(m ²)	6,628	6,628	6,628

※は株京葉総業子会社であり、株京葉総業代表取締役小出勉が兼務し、環境経営活動を実施。

<集計年度> 2025 年度 (2024.10~2025.9 現在)、白井作業所の敷地面積は事務所増床分含む。

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

認証・登録番号：0002152 認証・登録年月日：2008 年 2 月 5 日 認証取得 (取得後 15 年目)

認証・登録事業者名：株式会社京葉総業

対象事業所：本社(株式会社 京葉総業、所在地：千葉県船橋市高根町 2712-1)

白井作業所(有限会社京葉総業、千葉県白井市根 13 番 1)

事業活動内容：一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、
特別管理産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業

3. 許可内容

株式会社 京葉総業

<産業廃棄物の収集運搬業>

自治体	許可番号	許可年月日 許可の有効 年月日	水銀	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ト・陶磁器くず・水銀	ガラス・コンクリー	鉱さい	がれき類	ばいじん
* 千葉県	1200026079	R6. 2. 20 R13. 2. 19	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
* 東京都	13-00-026079	R1. 11. 8 R8. 11. 7			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
* 神奈川県	01400026079	H31. 12. 19 R7. 12. 18		○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○

●自動車等破砕物を除く。*印は優良事業者として認定取得。(注)は許可更新申請中。

<一般廃棄物収集運搬業>

自治体	許可番号	許可年月日	許可有効期限
船橋市	第 19 号	R6. 4. 1	R8. 3. 31
八千代市	第 8 号	R6. 4. 1	R8. 3. 31
習志野市	習志野市第 01-011 号	R6. 4. 1	R8. 3. 31

<特別管理産業廃棄物収集運搬業>

自治体	許可番号	許可年月日・許可有効期限	廃棄物の種類
* 千葉県	第 01250026079 号	R6. 2. 20~R13. 2. 19	廃油、廃酸、廃アルカリ
* 神奈川県	第 01450026079 号	H31. 12. 19~R7. 12. 18	感染性産業廃棄物

* 東京都	第 13-50-026079 号	R1. 11. 29~R6. 11. 28	廃油、廃酸、廃アルカリ
-------	------------------	-----------------------	-------------

* 印は優良事業者として認定取得。(注)は許可更新申請中。

有限会社 京葉総業

<産業廃棄物の収集運搬業>

自治体	許可番号	許可年月日 許可の有効 年月日	水銀	燃え殻	汚泥、水銀	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	磁器くず、水銀	リートくず・陶	ガラス・コンク	鉦さい	がれき類	ばいじん	
千葉県	01200107401	R5. 11. 18~ R10. 11. 17		○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●		●				○	○
東京都	13-00-107401	R6. 5. 17~ R11. 5. 16			○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●		●			○	
神奈川県	01402107401	R6. 5. 10~ R11. 5. 9			○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●		●			○	
埼玉県	01107107401	R6. 5. 21~ R11. 5. 20			○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●		●			○	
茨城県	00801107401	R6. 6. 4~ R11. 6. 3			○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●		●			○	

●自動車等破砕物を除く

<産業廃棄物処分業> (注)は許可証更新申請中

名称	有限会社 京葉総業	自治体	千葉県		
許可番号	第 01220107401 号	許可年月日	R6. 1. 25	有効年月日	R11. 1. 1. 8(注)
事業の区分	破砕及び圧縮による中間処理				
産業廃棄物の種類	<破砕による中間処理に係るもの> ① 廃プラスチック類 ②紙くず ③木くず ④繊維くず ⑤ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず				
	<圧縮による中間処理に係るもの> 金属くず、廃プラスチック類				

(これらのうち、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く)

【処理能力】 ~設置場所:千葉県白井市根字下郷谷 13 番 1, 14 番

施設の種類の	数量	処理能力 (設置年月日)
破砕施設 No. 1	1	廃プラスチック類 3. 1 2 t / 日 (0. 39t/時×8 時間) 紙くず 3. 2 8 t / 日 (0. 41t/時×8 時間) 木くず 3. 9 2 t / 日 (0. 49t/時×8 時間) 繊維くず 3. 9 2 t / 日 (0. 49 t/時×8 時間) ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 4. 7 7 t / 日 (0. 596 t/時×8 時間) (平成 15 年 11 月 21 日)
破砕施設 No. 2	1	廃プラスチック類 3. 1 2 t / 日 (0. 39t/時×8 時間) 紙くず 3. 2 8 t / 日 (0. 41t/時×8 時間) 木くず 3. 9 2 t / 日 (0. 49t/時×8 時間) 繊維くず 3. 9 2 t / 日 (0. 49 t/時×8 時間) (令和 2 年 11 月 18 日)

圧縮施設	1	金属くず 7.92t/日 (0.99t/時×8時間) 廃プラスチック類 6.32t/日 (0.79t/時×8時間)	(令和2年11月18日)
------	---	--	--------------

【保管量】 ～保管場所：千葉県白井市根字下郷谷13番1、14番

主な施設の種類		数量	保管量	
処理前物保管施設	搬入品一時保管施設 (廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	2	6.8 m ² 8.1 m ³ (コンテナ保管)	
	廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くずの保管施設 (RPF原料用)	2	36 m ² 52 m ³	
	廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くずの保管施設 (RPF原料用以外)	2	36 m ² 52 m ³	
	紙くずの保管施設	1	2.5 m ² 2.2 m ³	
	木くずの保管施設	1	36 m ² 52 m ³	
	金属くずの保管施設	1	6.8 m ² 8.1 m ³ (コンテナ保管)	
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの保管施設	1	6.8 m ² 8.1 m ³ (コンテナ保管)	
	処理後物保管施設	廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くずの保管施設 (RPF原料用)	1	36 m ² 52 m ³
		廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くずの保管施設 (RPF原料用以外)	1	36 m ² 52 m ³
木くずの保管施設		1	6.8 m ² 8.1 m ³ (コンテナ保管)	
金属くずの保管施設		1	6.8 m ² 8.1 m ³ (コンテナ保管)	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの保管施設		1	6.8 m ² 8.1 m ³ (コンテナ保管)	
残さ物の保管施設		1	6.8 m ² 8.1 m ³ (コンテナ保管)	
廃プラスチック類の保管施設 (処理前物)		1	6.8 m ² 8.1 m ³ (コンテナ保管)	
廃プラスチック類の保管施設 (処理後物)		1	8.2 m ² 8.2 m ³ (パレット保管)	

【処理工程】

選別→破砕→出荷 (リサイクル、処分) 及び選別→圧縮・梱包→出荷 (売却)

<施設等の状況(令和7年10月1現在)>

	株式会社 京葉総業	有限会社 京葉総業
運搬車両	2～4トンパッカー車 15台	4トンパッカー車 1台 2トン平ボディ車 1台 4トンアームロール車 3台
	4トンアームロール車 3台 *	2トンドンプ車 1台
	2トン平ボディ車 7台 *	
	バン 2台 *	
	冷蔵冷凍車 1台 *	
	計28台(*印は産廃車、他一廃車)	計6台(産廃用車両)
車両系建設機械等 (重機類)	—	ペーローダー 2台 ユンボ 2台 1.5t/2t フォークリフト 3台 破碎機 55kW 2台 圧縮機(10/12 縮小) 1台
	—	

お客様の立場に立って、「安全・安心・確実に！」をモットーに従事しています。



4. 産業廃棄物の処理実績 (受託分の処理量～収集運搬量、中間処理量、最終処分量)

株式会社京葉総業 : 年度 (単位: t)	2023年度	2024年度	2025年度
一般廃棄物収集運搬量	6,770	7,511	7,539
産業廃棄物収集運搬量(特管含む)	2,868	2,667	2,464
*医療系・感染性産廃収集運搬量	27.0	27.7	25.6

*活動期間を会計年度(10月～9月)に合わせた。 *特別管理産業廃棄物

有限会社京葉総業 : 年度 (単位: t)	2023年度	2024年度	2025年度
産業廃棄物収集運搬量	500	560	478
産業廃棄物処分量(中間処理)	3,421	3,301	3,167
うち再資源化等量	3,345	3,281	3,151
*中間処理量等後の再資源化量 (最終処分量含む)	2,788 (557)	2,718 (563)	2,632 (519)

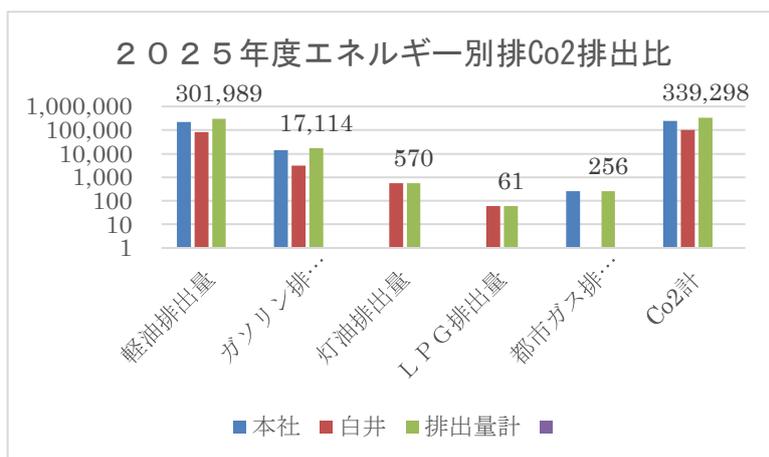
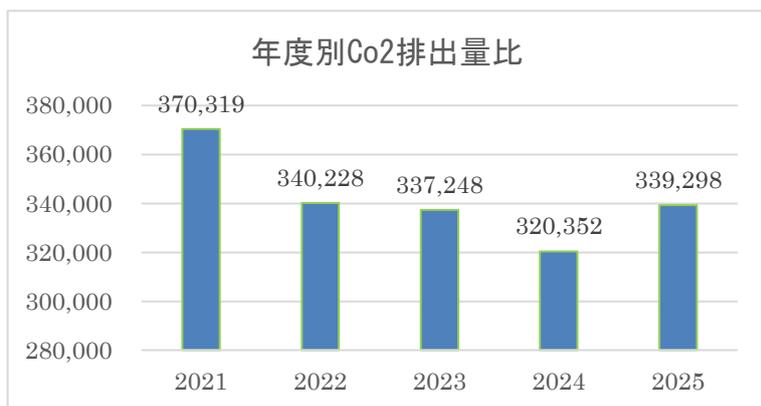
*活動期間を会計年度(10月～9月)に合わせた。 *単純焼却含む。

5. 廃棄物処理料金～料金は種類, 性状, 量, 運搬距離等に個別見積。(無料)

6. 環境負荷の状況

2025年度(2024.10~2025.9)		単位	全社合計	本社・船橋	白井作業所	
二酸化炭素排出量 合計			339,298	238664	100634	
化石燃料	購入電力	kg-CO ₂	19,308	4,012	15,296	
	ガソリン		17,114	13,934	3,180	
	軽油		301,989	220,462	81,527	
	灯油		570	0	570	
	液化石油ガス(LPG)		61	0	61	
	都市ガス		256	256	0	
受託分	産業廃棄物	t	収集運搬量	2,942	2,464	478
			中間処理量	3,167	0	3,167
			処理後最終処分量	519	0	519
	一般廃棄物		収集運搬量	7,359	7,539	0
水資源投入量	地下水使用量	m ³	750	70	680	
総排水量	合計		750	70	680	

- 1) 購入電力のCO₂実排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)令和2年度実績調整後0.474kg-CO₂/kWhを適用。
- 2) LPG: 1m³=2.18kgの日本LPガス協会の換算値を使用。
- 3) データは、株式会社京葉総業、有限会社京葉総業の合計値。
- 4) 水資源投入量は、(株)京葉総業は地下水メータ付けでないため推定量(年間70m³)を適用。
- 5) 事業活動に伴う自社分廃棄物の排出量は、一般廃棄物のOA用紙が有る。



今年度は長期的な猛暑に見舞われたが5年間で8%強の削減傾向で推移。特に船橋サイトのパッカー車両の軽油の削減が大きく作用し、今後も継続してエコドライブ・自主整備体制の強化、リースカーへの切替に努めていく。ガソリン車も同様に省エネ・省資源活動の定着により削減効果に寄与している。パッカー車両の更なる修理費削減についてもメンテナンスリース契約の促進と合わせ展開する。

7. 環境経営方針

《 環境経営方針 》

当社は、「地球と地域に貢献する企業」をモットーに、一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の収集運搬（特管廃棄物を含む）及び中間処理を通して、当社の関係する環境関連の法令等の遵守と共に、環境に配慮したリサイクル活動を推進し、地球温暖化防止と資源の有効活用を図るために、経営に於ける「課題とチャンス」を踏まえ、以下の環境経営目標に取り組み、継続的改善に努めます。

《 環境経営目標 》

1. 排出事業者様とのコミュニケーションを積極的に計り、リサイクルの拡大を図ります。
特に、リサイクル拡大の課題とチャンスを踏まえ、分別等の提案に努めます。
2. 社内での省資源・省エネ活動を推進し、地球温暖化防止と資源の有効活用を図ります。
特にエネルギー使用の課題とチャンスを踏まえ、中間処理設備の電力使用量、及び収集運搬車と重機の軽油使用量の削減に努め、地球温暖化防止を推進します。
又、処理施設での地下水使用量の削減に努めます。
3. コピー用紙の削減をはじめ、文書の電子化、オフィスのスリム化等に努めます。
4. 排出事業者様へのリサイクル提案活動の推進をはじめ、優良産廃処理業者として循環型社会に貢献して行きます。

当社の環境経営方針は掲示すると共に、全従業員が周知します。

また、環境への取組状況を「環境経営レポート」と、当社ホームページで公表して行きます。

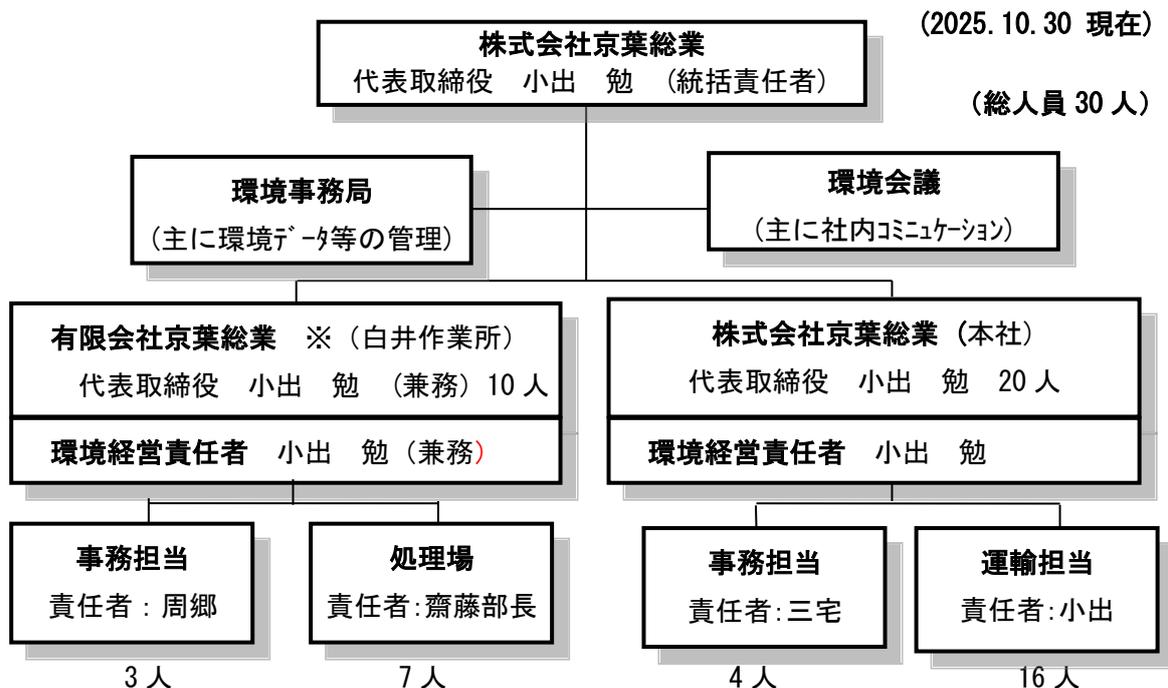
制定 2007年 4月 1日
改定 2021年10月 29日

小出 勉

8. 組織図

<環境経営組織図>

2021.10.29 作成



※(株)京葉総業子会社であり、(株)京葉総業代表取締役小出勉の統一指揮に従い環境経営活動を実施。

<役割・責任・権限>

代表者(統括者)

- 1) 環境経営方針と経営の「課題とチャンス」の明確化
- 2) 環境マネジメントシステムの実施と管理に必要な人、物、金の提供
- 3) 環境マネジメントシステムの実施、維持及び権限を有する環境経営責任者の任命
- 4) 環境経営方針の制定、周知
- 5) 環境関連文書類の承認(環境経営レポート含む)
- 6) マネジメントレビューの実施

環境経営責任者

- 1) 環境経営目標計画(中期)、環境経営計画(年度)の作成及び管理
- 2) 外部環境情報の窓口及び対応
- 3) 遵法評価の実施
- 4) 環境関連文書類の作成(環境経営レポート含む)
- 5) 是正・予防処置の指示、有効性の確認
- 6) マネジメントレビューのための情報提供及び記録の作成

各責任者・従業員

- 1) 環境経営目標計画(中期)、環境経営計画(年度)の実施と結果報告
- 2) 是正・予防処置の実施

環境事務局

- 主に会議の進行と結果及び環境情報の取り纏め等の環境経営責任者の補佐
- 1) 環境経営責任者の補佐、環境会議の事務方
 - 2) 環境データの把握と入力管理(環境負荷チェック・環境取組チェック)
 - 3) 環境経営活動の実績集計
 - 4) 環境関連の外部コミュニケーション窓口
 - 5) 環境経営レポートの取り纏めと公開

環境会議

- 主に社内外の周知事項の伝達、報告(環境経営活動の進捗・結果報告含む)
- 1) 環境経営目標、環境経営計画等の協議・発案
 - 2) 環境会議の開催(定期・臨時)、環境経営目標達成状況・環境経営活動の実施状況の確認

9. 環境経営目標（2023～2025年度の3か年中期計画：会計年度10月～9月）

環境経営目標（2023～2025年度 中期計画）				2022年10月26日作成 2025年11月25日更新					
環境方針 （キーワード）	環境目標項目 （負荷の自己チェックを考慮し策定）	責任部門 責任者	基準値 （基準年度）	年度毎目標と主な達成手段 （取組の自己チェックを踏まえて策定）					
				2023年度	2024年度	2025年度			
二酸化炭素排出量の削減	中間処理設備の電力使用量削減による二酸化炭素排出量削減	白井作業所	電力使用量削減	基準年度比	96%	95%	94%		
			31,175 kwh	目標値	29,928 kwh	29,616 kwh	29,305 kwh		
		実績（評価）		30,674 kwh（×）		30,134kwh（×）		32,270kwh（×）	
		環境管理責任者	2019年度	達成手段	定期点検等励行で故障件数削減（破砕機等）	定期点検等励行で故障件数削減（破砕機等）	定期点検等励行で故障件数削減（破砕機等）		
			二酸化炭素排出係数 0.474(kg-CO ₂ /kWh)		処理効率の監視（処理量と電力量）	処理効率の監視（処理量と電力量）	処理効率の監視（処理量と電力量）		
	達成手段		作業所の空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）		作業所の空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）		作業所の空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）		
	収集運搬車両の軽油使用量削減による二酸化炭素排出量削減	本社	軽油使用量削減	基準年度比	96%	95%	94%		
			130,768 リットル	目標値	125,537 リットル	124,230 リットル	122,922 リットル		
		実績（評価）		95,558リットル（○）		90,147リットル（○）		85,450リットル（○）	
		環境管理責任者	2019年度	達成手段	効率的な収集ルートの確認・指示	効率的な収集ルートの確認・指示	効率的な収集ルートの確認・指示		
二酸化炭素排出係数 0.0687(kg-CO ₂ /ℓ)			繰り返し修理車両の監視と修理費の節減		繰り返し修理車両の監視と修理費の節減	繰り返し修理車両の監視と修理費の節減			
達成手段		修理履歴等の携行カード備付		修理履歴等の携行カード更新版の備付		修理履歴等の携行カード更新版の備付			
達成手段		オイル・エレメントの定期交換等による故障防止		オイル・エレメントの定期交換等による故障防止		オイル・エレメントの定期交換等による故障防止			
環境経営の推進・省資源・省エネの推進	収集運搬車両の修理件数削減	本社	収集運搬車両の安定稼働推進	基準年度比	96%	95%	90%		
			116 件	目標値	111 件	110 件	104 件		
		実績（評価）		116件（×）		83件（○）		85件（○）	
		環境管理責任者	2023年度	達成手段	修理履歴等データ把握	修理履歴等の社内告知	修理履歴等の社内告知		
			障害件数・台数・修理費の把握・評価方法の改善含む		注油点検作業手順入手	注油点検作業手順書作成	注油点検作業手順書運用更新		
	達成手段		目標設定検討		新型への切り替え		新型への切り替え		
	コピー用紙の削減	本社	OAの改善促進	基準年度比	96%	95%	90%		
			174 kg	目標値	167 kg	165 kg	164 kg		
		実績（評価）		95kg（○）		116kg（○）		115kg（○）	
		環境管理責任者	2018年度	達成手段	業務連絡のメール化	業務連絡のメール化	業務連絡のメール化		
社内資料のデータ共有化			社内資料のデータ共有化		社内資料のデータ共有化				
達成手段		印刷ミス用紙の裏紙使用		印刷ミス用紙の裏紙使用		印刷ミス用紙の裏紙使用			
産業廃棄物処理事業におけるリサイクルの推進（新規顧客の獲得）	白井作業所	再資源化の促進	基準年度比	105%	105%	105%			
		81 %	目標値	85%	85%	85%			
	実績（評価）		83%（○）		82%（○）		84%（○）		
	環境管理責任者	2021年度	達成手段	排出事業者への改善提案推進（リサイクル）	排出事業者への改善提案推進（リサイクル）	排出事業者への改善提案推進（リサイクル）			
		新規及びリピート事業者の拡大		新規及びリピート事業者の拡大	新規及びリピート事業者の拡大				
達成手段		リサイクルチャンネルの開拓		リサイクルチャンネルの開拓		リサイクルチャンネルの開拓			
達成手段		最終処分場の定期的視察とコミュニケーション向上		最終処分場の定期的視察とコミュニケーション向上		最終処分場の定期的視察とコミュニケーション向上			
省資源・省エネの推進	地下水の使用量削減	白井作業所	地下水資源の有効利用の徹底	基準年度比	96%	95%	94%		
			882 m ³	目標値	847 m ³	838 m ³	829 m ³		
		実績（評価）		850m ³ （○）		968m ³ （△）		680m ³ （△）	
		環境管理責任者	2019年度	達成手段	処理施設の適正運転による節水	処理施設の適正運転による節水	処理施設の適正運転による節水		
			洗車水の適正利用		洗車水の適正利用	洗車水の適正利用			
達成手段		洗車水の適正利用		洗車水の適正利用		洗車水の適正利用			
環境経営の推進	広報・提案活動の推進による新規顧客の獲得	本社	新規顧客の拡大	基準年度比	105%	110%	115%		
			120 件以上提案	目標値	126 件	132 件	138 件		
		実績（評価）		35件（×）		296件（○）		33件（×）	
		環境管理責任者	2021年度	達成手段	朝礼等での現況確認と指示	朝礼等での現況確認と指示	朝礼等での現況確認と指示		
			提案優秀者の表彰		提案優秀者の表彰	提案優秀者の表彰			
		達成手段		提案優秀者の表彰		提案優秀者の表彰		提案優秀者の表彰	
		白井作業所	環境管理責任者	新規顧客の拡大	基準年度比	105%	110%	115%	
				116 件以上提案	目標値	122 件	128 件	133 件	
実績（評価）			96件（○）		137件（○）		139件（○）		
環境管理責任者	2021年度		達成手段	朝礼等での現況確認と指示	朝礼等での現況確認と指示	朝礼等での現況確認と指示			
	提案優秀者の表彰	提案優秀者の表彰		提案優秀者の表彰					
達成手段		提案優秀者の表彰		提案優秀者の表彰		提案優秀者の表彰			

○:80%以上 △:40%以上79%以内 ×:40%以下 で評価。

10. 2025年度環境経営活動の取組結果とその評価と次年度の取組について

(活動期間 2024年10月～2025年9月)

項目	実施部門	目標値	実績値	達成率	評価	取組結果と次年度への取組
二酸化炭素 排出量削減	白井	中間処理 設備の電力 使用量削減 29,305kWh内	32,270 kWh	110%	○	事務所内に省エネタイプの空調機を (2023年6月)新設も今夏の猛暑で電 力量が10%増となり目標未達成。次 年度は未達要因の対策を加味し、施 設内使用機器の効果的な稼働と温度 設定、簡易点検励行等で節電に努め ていく。
		電気原単位の 削減 8.87kWh/t(処理量)	10.19 kWh/t	87	○	電気使用量は若干の増加であったが 処理量の減少も影響した。
	本社	収集運搬車両 の軽油使用量 122,922リットル内	85,450 リットル	144%	○	軽油使用量削減は各ドライバーの創 意工夫もあり44%減と大幅に目標達 成。特にパッカー車両の新型リース カーへの交換も日々の故障予防措置 の推進効果が出ている。次年度もパ ッカー車の点検作業手順書を活用し 軽油の削減に努める。
軽油原単位の 削減 9.77ℓ/t(収集 量)		8.54 ℓ/t	114%	○	軽油使用量は大幅に削減した。収集 量の減少も効率的に工夫し14%改善 し目標を達成した。	
収集運搬車両 の安定稼働 (修理件数の 削減)	本社	車両修理件数 の削減による 経費削減 年間104件内	85件	122%	○	2023年度からデータ把握による取 組目標を設定し、目標比32%削減し 達成に続き今年度も手順書を活用し 安定稼働と新車への切り替えを促進 し22%修理件数削減し目標達成し た。引き続き施策を展開する。
コピー用紙の 削減	本社	157kg以下	115.6kg	136%	○	電子帳簿保存法・インボイス制度 (2022.6月)を機会にペーパーレス 化を継続的に促進した結果、取引先 との請求処理のメール化増加により 目標比36%の用紙削減に繋がった。 次年度も通信費削減と合わせ請求書 の電子化を促進し、新規顧客の獲得 に努める。

産業廃棄物リサイクル推進	白井	リサイクル推進 (2021 年度基準 85%)	85%以上	84%	○	混廃の受入量増加傾向も考慮し分別徹底の結果も僅かに未達成となった。次年度もリサイクル向上への提案活動を推進する。当面混廃増を考慮し中期目標は 85%のリサイクル目標で取り組む。
地下水の使用量削減	白井	829 m ³ 以下	680 m ³	122%	○	高圧温水洗浄機による洗車と回転式スプリンクラーの場内散水の徹底を図り、今夏の猛暑でも 22%節水目標を達成し。継続して節水努力する。
広報・提案活動で顧客拡大	本社	提案 136 件	33 件	24%	×	本社は提案件数の大幅減に対し要因分析し改善を図る。特に顧客ニーズの吸収の為、SDGSとエコアクション 21 の取組を環境レポートと自社ホームページを通じてPRし顧客開拓に努めていく。白井は排出事業者への提案活動を推進し目標値 5%増と達成。継続して提案パターンも工夫し更なる顧客獲得増に努めていく。
	白井	提案 133 件	139 件	105%	○	

【評価欄について】

削減する目標は目標／実績×100(%)、増加する目標は実績／目標×100(%)の算出値を達成率とし

○：80%以上、△：40%以上 79%以内、×：40%以下 で評価。

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2025 年 10 月 25 日に環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、環境関連法規等への違反はない。尚、過去 3 年間、関係当局からの違反等の指摘はない。又、利害関係者からの苦情等についても無い。

【主な環境関連法規等】

廃棄物処理法、自動車 NOx・PM 法、道路運送車両法、貨物自動車運送事業法、浄化槽法
 消防法、騒音規制法、労働安全衛生法、フロン排出抑制法(業務用空調機、冷蔵冷凍車、重機)



エコドライブに心掛け、プロドライバーとして安心・安全への努力とルールの遵守状況を評価し、毎年度エコドライブ推進と無事故運転の社員を表彰。今後も評価・表彰制度の継続と充実に努めます。

1 2. 代表者による全体の評価と見直し (2025 年 11 月 28 日 実施)

- 二酸化炭素の排出量は 5 年間減少を維持した点は評価できる。特に、当社の約 90%を占める軽油使用の排出量は高く、船橋 73%、白井 27%である。白井サイトの「中間処理設備の重機、収集運搬車両」の作業効率の向上と安定稼働が必須であり、船橋サイトは「バック一車の日常点検の継続と車両点検の励行」である。併せて重機や車両の更改も推進する。
- 新目標で取り組んだ船橋サイトの収運車両の故障による修理件数の削減は新車へのローテーションと日々の点検・エコドライブ等の取組で目標達成した。引き続き経費と収集運搬機会を逸する事無く、継続して監視と整備点検の励行に心がけて行く。
- 昨年度同様にコピー用紙の削減は特筆すべき成果を挙げ本社・船橋では取引先との請求処理の電子化推進で切手・封筒の節約にも貢献している。今後更なるメール化請求処理等

の効率化と省資源活動でコピー用紙と通信費の削減を期待したい。

- 今年度は船橋サイトは低調な結果であったが白井サイトは提案件数目標を達成した。徐々に新規顧客獲得に繋がり成果を出している。改善提案活動は、新たな取組施策のボトムアップに繋がり且つ環境経営の要であり、今後も全社的に推進して行きたい。

➤ (1) 環境経営責任者からの報告

報告項目	報告内容	評価
環境経営システム	環境経営マニュアルに従い、計画通り取り組め、規定・手順等に問題ないことを報告。	○
環境目標及び活動実績	2019年度を基準年度とした、新たな中期目標は3年目を迎え概ね達成した。特に二酸化炭素の排出量の削減は、本社・船橋サイトを中心に最大負荷として約9割占める軽油使用量の削減が寄与し、目標達成し問題ないことを報告。継続して修理コスト管理による不調車両のローテーションを推進する。電力の使用量削減は事務系端末のリプレイスとエアコンの本社打合せ室、白井作業所の入替を積極的に終え、省エネ効果を発揮し概ね目標を達成した。	○
環境関連法の遵守状況	環境関連法令登録表により、2024年10月25日に遵法性評価結果を確認し、問題は無い事を報告。	○
外部から苦情・要望	環境に関わる苦情の発生は無い事を報告。(過去コロナ禍でのPCR検査場内で飛散事態発生以降無し。)	○
緊急事態訓練	火災発生時と運搬車両事故時を想定した訓練を実施し、特に問題なく実施し、成果を得た旨報告。(手順書の改定も不要と判断)	○
前回レビュー時の指示事項の対応状況	指示事項は履行されていた事を報告。	○

(2) 代表者による指示事項

変更の必要性の有無	① 環境経営方針	改定の必要は無い。
	② 環境経営目標	新規中期計画を策定(3年間)及び全員周知の上活動展開すること。
	③ 環境経営計画	同上の策定に追従し新年度の活動展開をする。
	④ 環境経営システム(組織体制を含む)	昨年度同様組織は変更なく、当面本社・船橋地区の責任者が白井地区を兼務する。

以上